※令和３年度以前入学生用

学校番号	C2101

令和５年度　数学科

科目	数学活用	単位数	２	必要Ｓ出席数	２
使用教科書	数学活用　（実教出版）				
副教材等	なし				

	年間	１範囲	２範囲	３範囲
レポート	６通	2	2	2
スクーリング	８回	3	3	2
テスト	０回	×	×	×
課題・実習等				

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学の歴史や生活の中の身近な数学を通して、数の諸概念や数と人間の活動とのかかわりを学ぶ。単に計算を行ったり、式を組み立てたりというより、むしろ数や図形の不思議さや数学の考え方を身につけるような科目である。数学に興味関心を持つきっかけとなる内容の科目でもある。

2　学習の到達目標

「身の回りの数学」に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けましょう。
同時にレポートの合格枚数、スクーリングの必要回数を満たしましょう。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	b:数学的な見方や考え方	d:知識・理解
観点の趣旨	「身の回りの数学」に関する数理的な諸概念に興味・関心をち，それらを意欲的に探究するとともに，数学を活用しようとする。	「身の回りの数学」におけるいろいろな事象について，数学的にとらえ、論理的に考察したり表現できる。	「身の回りの数学」について、事象を数量や図形を用いて適切に処理ができる。	「身の回りの数学」に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けられる。
評価方法	・記述の点検 （レポート）	・記述の点検 （レポート）	・記述の確認及び分析 （レポート）	・記述の確認及び分析 （レポート）

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1範囲	数と人間	①古代エジプト･ローマ数字 ②四角数･三角数 ③倍数の見分け方･虫食い算 ④カプレカ数	○	○	○	○	a 具体的な事象の考察をレポートを通じてとらえようとしている。 b具体的な事象の考察をレポートを通じてとらえることができる。 c具体的な事象の考察をレポートを通じ、目的に応じて解答することができる。 d具体的な事象を通じて知識と理解を深める。	
2範囲	図形と人間	①期待値 ②単利法･複利法の仕組み ③坂道の角度･建物の高さを求めよう ④ピラミッドの高さ	○	○	○	○	a 具体的な事象の考察をレポートを通じてとらえようとしている。 b具体的な事象の考察をレポートを通じてとらえることができる。 c具体的な事象の考察をレポートを通じ、目的に応じて解答することができる。 d具体的な事象を通じて知識と理解を深める。	･レポート
3範囲	社会生活と人間	①三平方の定理 ②黄金比 ③トーナメント戦･リーグ戦 ④ひと筆がき	○	○	○	○	a 具体的な事象の考察をレポートを通じてとらえようとしている。 b具体的な事象の考察をレポートを通じてとらえることができる。 c具体的な事象の考察をレポートを通じ、目的に応じて解答することができる。 d具体的な事象を通じて知識と理解を深める。	･レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。